

元気のでる福祉のまちに

べんからごうし

第21号
2003年
1月発行

編集・発行

社会福祉法人 京都市中京区社会福祉協議会

〒604-8316 京都市中京区大宮通御池下る三坊大宮町121-2 TEL.075-822-1011 FAX.075-822-1829
<http://www.mediawars.ne.jp/fukusi06>

きつずばあくin明倫

就学前の乳幼児とその保護者対象
自由に遊び、お友達づくりの場です

【お問い合わせ】

中京区福祉事務所子ども支援センター
☎812-0061(内)323



子どももお母さんも楽しみながら友達づくり

12月11日(水)に地域のお母さんたちが待ち望んでいた「きつずばあく」が元明倫幼稚園で開催されました。

会場に、ぞくぞくと小さな子どもをだっこしながら入ってくるお母さんたち。「こんにちは」と笑顔で迎え入れる総勢20名ほどの「きつずばあく」を増やそう実行委員会（子育て支援実行委員会）の人たち。

マンションが増え、小さな子どもたちも増えているのに、これまで堀川より東の地域には、保育園や児童館が一つもなく、子育てをしながら働くお母さんや乳幼児を抱えているお母さんたちの子育ての悩み、ちょっとした聞きたいこと、話したいことを交流する場所がありませんでした。

区内にある福祉事務所、子ども支援センター、主任児童委員、市立保育所、保健所、社会福祉協議会が一緒になって準備し、この日の集いのためにチラシやポスターなどで参加を呼びかけました。元明倫幼稚園を管理している自治連合会長の伊藤さんは、「地域の活性化につながるようになれば」と、「きつずばあく」が活動する場を快く提供して下さいました。

それぞれの場所で思い思いの遊びをする子どもたち。それを見守るお母さんたち。「お子さん、おいくつですか?」「こんな事で悩んでいるんだけど...」、そんな会話からお母さん同士の交流が始まります。そしてお母さん同士では解決できない悩みもここでは、専門の保育士さんや保健師さんが一緒になって話しあいに加わり、お母さんとの交流が深まります。第1回目として予想を上まわる人数で、36組の親子の参加者がありました。

「きつずばあく」は地域ぐるみで子育てを支援していくふれあいの場となることを目指しています。

2時間たらずの交流でしたが、これを機に地域が一丸となって子育て中のお母さんをバックアップし、これからもより結びつきの強い地域づくりが期待されます。

中京区民生活実態調査から

住民懇談会でさまざまな意見が出される

平成十五年二月策定を目標に、昨年十月から毎月一回の作業委員会を積み重ねつつ、関係者のヒアリングを行ったり中京区民生活実態調査を実施して、中京区民の生活実態や福祉活動の現状を把握してきました。また、十月から十一月にかけては、中京区民生活実態調査に協力していただいた六つの元学区に於て、住民懇談会を開催しました。

関係者のヒアリング

日時	ヒアリング名	参加者数
14年 8月26日 15:00~17:00	京都市配食サービス事業実施事業者懇談会※1	区内4事業者と1事業予定事業者から7名(作業委員会※2 5名)
14年 9月24日 13:00~16:00	学区社協活動交流会議	23学区社協・民生児童委員、学区障害者団体関係者から85名(作業委員10名)
14年10月26日 14:00~16:00	中京区ボランティアグループ交流会	区内11グループから12名(作業委員7名)

※1 京都市配食サービス…買物や調理に不便を感じておられる高齢者のご家庭に昼食をお届けする福祉サービス。65歳以上で介護保険の要支援又は要介護の方が対象となります。中京区では、京都市朱雀工房、京都市西ノ京(きこえの森)デイサービスセンター、キョート老人デイサービスセンター、老人保健施設西の京で実施しています。

※2 作業委員…中京区地域福祉活動計画策定作業委員のこと。住民懇談会は地域福祉活動計画づくりの一環として実施していますので、作業委員も加わりました。

巡回住民懇談会 (中京区民生活実態調査実施学区)

開催日時	学区	場所	出席者数
14年10月4日 10:00~12:00	立誠学区	元立誠小学校	住民10名 作業委員8名
14年10月21日 19:00~21:00	教業学区	元教業小学校講堂	住民45名 作業委員7名
14年10月28日 19:00~21:00	朱一学区	朱一小学校コミュニティサロン室	住民33名 作業委員6名
14年10月29日 19:30~21:00	富有学区	富有自治会館	住民30名 作業委員5名
14年10月31日 19:30~21:00	朱五学区	朱五会館	住民63名 作業委員7名
14年11月22日 19:30~21:00	龍池学区	元龍池小学校 第2図書室	住民38名 作業委員6名

住民懇談会ではこんな声をお寄せいただきました。

【地域活動について】

中 京ではマンションが増えています。一方、マンションにお住まいの方の実態がなかなかつかみきれないという声がありました。一方でマンションの住民の方には、地域で配布されている情報誌などが、ほとんど届かないという指摘もあります。さらに、最近マンションに入ってから変わったような比較的若い層との交流がしたいが、どうすればよいのかわからないといった意見もある中で、最近引越してきたマンション住民の方自身が地域のボランティア活動に参加しているというご紹介もなされました。

また、地域には老人クラブや女性会、少年補導委員会、体育振興会など、さまざまな団体があります。このような団体で、いろいろな取り組みをなされていますが、それぞれが手を携えて、地域全体で誰もが住みやすくなるような取り組みが大切ではないかという意見もありました。

これまでの元学区単位での地域活動では、チラシの配布なども町内単位で行われることが多いのですが、マンションにお住まいの方の中には元学区がわからないという方がたくさんおられますし、町名自体もわからない方もおられるという指摘がありました。

【子どもの問題について】

中 京では近年十四歳以下の子どもの数が増えています。住民懇談会では子どもの問題について声がありました。特に東部は、自由に子どもたちが憩える児童福祉施設が少ない地域です。少ない遊び場の一つである公園が犬猫の糞尿で不衛生であったり、遊具がさびついて安全に遊べないというお母さん方の声も紹介されました。また、地域の子どもの対象の行事に参加したいが、その担当窓口の方がどこに住んでおられるのかわからず参加できないといった声も、マンション住民の方からあったことも紹介されました。

さらに、子どもとお母さんの居場所づくりの取り組みを新しくはじめた学区では、異年齢の交流が必要であるという声が出ました。そして、統合されている小学校跡地を遊び場として開放してもらいたいという意見が、お母さんたちから出たことも紹介されました。公園内に昔のちんちん電車が設置されていて、地域ぐるみで遊び場として運営していた学区では、その電車の撤去ともなっていて、地域とお母さん方との繋がりが薄くなったとの声が出ました。

【高齢者の問題について】

中 京では、高齢化もすすんでいます。悪質な訪問販売の被害者になる高齢者が増えており、防犯の取り組みが必要であるという意見が出てい

アンケート (抜粋)

感想

- 地域住民のひとりとして、福祉以外のことについても刺激を受け勉強させていただきました。
- 高齢者の問題について意見が多くありましたが、障害者問題も話題になると良いのではないのでしょうか。
- 暮らしに密着したボランティアを大切にしていきたいと思っています。
- 社会福祉協議会自体のことがよくわかりません。今日出された意見や要望は、誰がどんな手法で解決して下さるのですか？
- 時間が少なくて充分ではなかった。地域が良くなるために何度もしてほしい。
- もうすこし小さなレベルでの話し合いの場が必要。



ます。
学区のなかには学区社会福祉協議会を中心として、高齢者が定期的に集まって憩えるサロン活動に取り組むところが増えています。サロン活動を実施している学区からは、集合住宅にお住まいの方で、民生委員さんなどがお宅に訪問しても、なかなか関わられなかった方が口コミでサロン事業を知り参加

してくださるようになり、民生委員や学区社会福祉協議会で活動されている人たちと接点が生まれてきたという報告もありました。
地域でこれまで行われている活動では、高齢者が受け身的な「対象者」や「利用者」となることが多かったのですが、「主体的な参加者」となっていたかどうかような出番づくりが必要ではないか

まちづくり提案

- 路上の通行が楽に歩けるようにしてほしい。
- マンション建設にあたり、地域協定を作成してはどうか。
- 福祉をよくする心の輪が必要。
- 二条駅裏に高齢者や子どもたちが遊べる場所ができるといいが。緑の森ができるといいが。
- 近くて気軽にいろんな人がワイワイガヤガヤおしゃべりできるような、居間のような施設・場所がほしい。
- 施設をつくることも大事だが、情報を必要な人に届けることも大事だと思った。
- ボランティア清掃をする制度をつくれればよいと思う。



という意見もありました。
他にも社会福祉に関すること以外に、駐車駐輪の問題や、ゴミの不法投棄の問題、外灯設置の問題、夜間無灯火の自転車の問題など、さまざまな生活に関わる問題が指摘されました。
このような話し合いの場が今後いろいろな地域でできたらいいですね。

区民フォーラム2

中京区地域福祉活動計画案をみて下さい!

中京区地域福祉活動計画案をご披露し、ご意見をいただく区民フォーラム2を開催します。福祉関係者、ボランティア、当事者だけでなくどなたでも参加できます。

中京の福祉のまちづくりのために、ご意見をお寄せください。

- 開催日 ● 平成15年2月23日(日) 午後1:30~4:30
- 場所 ● 京都アスニー
- 参加費 ● 無料



(龍池学区住民懇談会)

●平成14年度 介護ボランティア養成講座 ●

高齢者や障害のある方について理解を深め、介護に関する技術などが楽しく学べる講座です。

- 会場：中京区地域福祉センター
- 対象：中京区内にお住まいの方で、地域福祉・ボランティア活動に興味のある方（年齢・性別不問）
- 定員：30名
- 問合せ・申込先：中京区ボランティアセンター TEL.822-1011/FAX.822-1829



開催日時	内 容
第1回 2月4日(火) 1:30~4:00	オリエンテーション自己紹介 「お年寄りの状況を体験しよう」 実技：高齢者擬似体験
第2回 2月18日(火) 1:30~4:00	「お年寄りや障害のある人の心や生活を理解しよう」 講義：高齢者・障害者の理解
第3回 2月25日(火) 1:30~4:00	「介護技術を習得しよう」 実技：・衣類着脱の介護 ・体位交換 ・移乗の介助 など
第4回 3月4日(火) 1:30~4:00	「現役介護者や先輩に学ぶ」 交流：中京区介護家族の会及びボランティアグループのみなさん

●平成14年度 点字入門講座 ●

視覚に障害のある方を正しく理解し、点字やガイドヘルプなどの体験を通して、視覚に障害のある方への支援の方法を学ぶ講座です。

- 会場：中京区地域福祉センター
- 対象：中京区内にお住まいの方で、地域福祉・ボランティア活動に興味のある方（年齢・性別不問）
- 定員：30名
- 問合せ・申込先：中京区ボランティアセンター TEL.822-1011/FAX.822-1829



開催日時	内 容	
	前 半	後 半
第1回 2月6日(木) 1:30~3:30	講演 「視覚障害について」	実技 点字講座①
第2回 2月13日(木) 1:30~3:30	講演 「視覚障害者の暮らしについて」	実技 点字講座②
第3回 2月20日(木) 1:30~3:30	講演と実習 「外出支援体験」	実技 点字講座③
第4回 2月27日(木) 1:30~3:30	実技 点字講座④	交流会

平成15年度事業にかかわる賛助会員の募集を始めます。

中京区並びに各学区社会福祉協議会の平成15年度事業を支えてくださる賛助会員の募集を始めます。

●賛助会費

個人（世帯）年1口 500円
法人（企業）年1口 1,000円
（個人・法人とも口数に制限ありません）

●募集期間：平成15年1月より

（ただし各学区によって異なります）

●募集方法：各学区社協を通じ、自治会の協力のもとで行っています。

◎ご意見・お問い合わせは、中京区社協(822-1011)でも受け付けています。